

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記2

国立市立国立第七小学校

平成26年10月7日 NO.45 (145)

モンタ博士「4日の^{うんどうかい}運動会は、お天気もよくて、みんなとてもよくがんばってえらかったね。運動会での^{がっこうせいかつ}がんばりをこれからの学校生活で生かしていこうね。ところで、突然^{とつぜん}だけど、今日^{きょう}は、お月様^{つきさま}のお話^{はなし}をしよう。」

花ちゃん「え！お月様？^{きゅう}急にどうかしたんですか。モンタ博士！」

モンタ博士「まあまあ、そのうちわかるよ。ところでさ、『月』^{つき}というと、みんなは何を^{なに}思い出すかな。どんなことでもいいよ。言^いってごらん。」

花ちゃん「そうですね。三日月^{みかづき}とか半月^{はんげつ}とか……。ですか。」

オー君「満月^{まんげつ}っていうのもあるでしょ。」

花ちゃん「それから、1月^{がつ}・2月^{がつ}・3月^{がつ}……。」

オー君「……。10月^{がつ}・11月^{がつ}・12月^{がつ}ってあるね。」

モンタ博士「なーるほど。月^{つき}って、三日月^{みかづき}とか満月^{まんげつ}とかもあるけど、〇月^{つき}、△月^{つき}とか、こよみでも使^{つか}うんだね。よく気^きがついたね。」

花ちゃん「モンタ博士！こよみというのは、月^{つき}や地球^{ちきゅう}や太陽^{たいよう}などの動き^{うご}に合わせてできているって、^{としよしつ}図書室の本^{ほん}で読^よんだことがあります。」

モンタ博士「その通り^{とお}だね。地球^{ちきゅう}が自分^{じぶん}で1回^{かい}まわると、『1日^{1にち}』だね。月^{つき}が地球^{ちきゅう}のまわりを1回^{ひとつき}まわると、『1月^{つき}』だ。それから、地球^{ちきゅう}が太陽^{たいよう}のまわりを1回^{ひとつき}まわると、『1年^{1ねん}』だ。そうやってこよみはできているんだね。」

おーくん「なーるほど。そういうことですか。」

モンタ博士「それから、月^{つき}は1ヶ月^{1かげつ}の間^{あいだ}にいろいろと形^{かたち}をかえるのを知^しっているかな。」

花ちゃん「それがつまり、三日月^{みかづき}とか半月^{はんげつ}とか満月^{まんげつ}とかいうのですね。」

モンタ博士「そういうことさ。夕方^{ゆうがた}の月^{つき}の形^{かたち}と方角^{ほうかく}というのは、いつもきまっているんだ。」

オー君「どういうことですか。」

モンタ博士「あのね、お日^ひ様がしずむと、細^{ほそ}い三日月^{みかづき}が西^{にし}の空^{そら}に出^でてくるんだ。そして、日^ひがたつにつれて、お月^{つき}様の位置^{いち}は東^{ひがし}へとずれていくんだ。」

花ちゃん「そして、三日月^{みかづき}がだんだんふとっていくんですね。」

モンタ博士「その通り。そして半月になると、南の空に光るんだ。さらに、満月は、東の空に見えるのさ。そのうち、月の出がおそくなり、夕方には見えなくなるとのことさ。」



モンタ博士「そして、月齢26日の月は、朝方、太陽の出る前に東にのぼるといわけね。」

オー君 「え！ちょっとまってモンタ博士。今、月齢とかいったけど、何のことですか。」

モンタ博士「みんなにも年というものがあるだろう。」

人間は1年365日で1つ年をとるね。

それと同じで、月は毎日1つずつ大きくなるんだ。右の写真のきりぬきを見ればわかると思うよ。」

オー君 「なーるほど。そういうことですか。」

月の満ち欠けて、おもしろいね。」

花ちゃん 「それに、観察はすぐできそうだし、

私、月の満ち欠けを1ヶ月ずうっと調べてみるわ。」

オー君 「ぼくもやるよ。いっしょ手伝うよ。」

モンタ博士「それから、言い忘れたけど、明日は

皆既月食といって、3時間くらいの間に月が満ち欠けするよ。」

花ちゃん・オー君「え！皆既月食？」

あすの暦

10月3日 (金曜日)

通日 276
旧9月10日
<赤口>
月齢 8.9

(正午)

日出 5.37
日入 17.23
月出 13.38
月入 —

—東京標準—

満潮 { 13.32
23.51
干潮 { 5.45
18.53

(長潮)

あすの暦

10月4日 (土曜日)

通日 277
旧9月11日
<先勝>
月齢 9.9

(正午)

日出 5.38
日入 17.21
月出 14.24
月入 0.30

—東京標準—

満潮 { —
14.31
干潮 { 7.16
20.08

(若潮)